

昭和からのメッセージ



希望舞台

居酒屋夢子 1969

作 演出 ニシモト マキ
由井 數



音楽

余田 崇徳
松本 真樹

照明プラン・効果

高橋 康孝

美術・舞台監督

杜江 良

歌唱所作指導

諏訪 ひろみ

宣伝美術

長谷川 百合

制作

玉井 徳子

2023年 12月 6日 (水)

昼の部 14:00 開演 夜の部 18:30 開演 (開場それぞれ 30 分前)

山梨県立文学館

前売り一般 3,000 円 中高生 2,000 円 (当日 500 円増)

主催・「居酒屋夢子」甲府公演実行委員会

文化芸術活動の支援事業

ARTS for the future! 2

生まれてきちゃったんだから、 生きるつきやあない。



西村 いづみ



伊藤 嘉朗



秋野 隆宏



隈元 鈴



中村 保好



副島 風



山田 さおり



好井 ひとみ



神 道明



戸村 洋美



町田 政則



黒田 利夫

あらすじ
1969年(昭和44年)の夏。東京の下町にある小さな飲み屋「居酒屋夢子」。ここに集う、常連客と売れない演歌歌手、従業員兄妹の一晚の物語。

♪夢があるから 生きてゆける
ひとはだれでも そつ言つけれど
叶わぬ夢 見果てぬ夢 むなし夢 なくした夢

他の常連客も湧き上がる中、別の演歌歌手の「はる江」だったと分り落胆するが、それは兄妹に演歌歌手を知るために社長。「はる江」は演歌は怨歌だと師匠の伝説の名ディレクター阿佐ヶ谷亮爾(あさがやりようじ)に教えられたという。そんな中、謎の女性が入店する。泣きながら 生き別れ 幼いおまえと会えぬ日々 思わない日は なかったけれど ずっと離れて生きてきた

従業員兄妹。兄「悟」は元ボクサー、傷害事件を起こしライセンスを剥奪された。妹「千鶴子」高校生、父の夢でもある演歌歌手を夢見ている。二人とも幼い頃に母を、2年前に父を失って、以降、「居酒屋夢子」で働いている。

ある日、社長と呼ばれる常連客「沢井」が有名演歌歌手「高田はる江」を、連れて来る。

高度経済成長に踊り、昭和が最も輝いていた最後の時代。「居酒屋夢子」のママ、祐美子。謎の女、芙由子。謎の男?リリコ。同級生だった三人は、その夜語り合う。

24年前の東京大空襲…。その焼け野原で何があつたのかを…。



オリジナルの演歌が奏でる人生賛歌

お問合せ

(甲府応援団)

黒田 利夫	(090-1460-0796)
安藤 恵美子	(080-1331-1356)
小松 とよ子	(080-1028-6211)
浅野 賀世	(090-2744-9425)

(劇団事務局)
由井・玉井
(090-2444-7500)

昭和の人生賛歌ともいえるものにぎやかな芝居は「居酒屋夢子」の名の通り、「夢」がキーワードになっています。

戦後24年、高度成長真つただ中で、翌年の万博開催を待つ日本の庶民。アポロ十二号月面着陸成功のニュース映像が世界中を沸かせ、科学の進歩は目を見張らんばかり。

そんな時代を背景に、人々は自由を謳歌していますが、その自由は、かつての戦争を経験し、戦火をくぐりぬげ生き延びてきた今だからこそ手にできたものであることを、ラストではつきりと知るのです。

「生まれてきちゃったんだから、何があつたつて生きるつきやない」

居酒屋ママのセリフは、夢や希望に溢れていた右肩上がりの69年当時より、むしろ50数年後の、パンデミックや戦争の不安に見舞われた現在の方が、より切実な意味を持つような気がします。

というのも、人々は、今までもそういつて開き直りながらたくましく生きてきたのだらうし、だとすれば現代の閉塞感も、この開き直つたセリフをつぶやきながら乗り切るしかないのではないかと、作者は思うからです。



三ツモト マキ
テレビアニメ、ラジオドラマ、等の脚本を執筆。
故西村滋の長女。